

# 尊光寺報

第139号  
令和5年9月

徳島県阿波市市場  
町大野島字天神41  
尊光寺

## おかみそり(法名拝受)を尊光寺で

このたび尊光寺では、原則として本山のみで執行できる御髮剃(おかみそり)の儀を、尊光寺本堂で執行行うことになりました。儀式は本年の御正忌報恩講の法要後(十二月十七日午後三時)に、ご本山より儀式執行者をお招きして行う予定で現在調整を進めています。

御髮剃(おかみそり)の儀は、帰敬式(ききようしき)と呼ばれ、浄土真宗の門徒としての自覚を新たにし、仏弟子としての名前である法名(ほうみょう)をいただく儀式です。ご本山では、親鸞聖人の御真影(ごしんねい)親鸞聖人の御木像(ごもくぞう)の前で、御門主さま、またはその御手代わりの僧侶が、受式者の頭に剃刀をあて、受式者は浄土真宗門徒として自覚を新たにする旨を記した帰敬文(ききようもん)を読み上げ、御門主さまより法名をいただきます。

可能な限り、元氣なうちにご本山へ参り、法名を頂くのが浄土真宗門徒の心得ではありますが、それがかなわない場合は、葬儀の時に所属寺の住職が御門主のお手代わりとして御髮剃の儀をおこない、法名を授けます。

本年は、親鸞聖人の御誕生から八百五十年、浄土真宗が開かれてから八百年の慶讃法要の年であります。この慶事に当たり、尊光寺ではこれまで御髮剃のご縁に会えなかつた方々に是非とも法名をいただいでほしいと機会を設けるものがあります。

### 戒名ではなく、法名

他宗では、法名ではなく戒名と言う場合もありますが、浄土真宗では法名と言います。戒名とは戒律を授かり仏道修行を歩む者というような意味の名前ですが、法名は仏法にであり、仏法を拠り所として生きる者というような意味の名前です。戒律を授かるうとも守ることもできない私たちを必ず救うとはたらかれている阿弥陀さまの願いに出会った者の名前です。

法名は「釋○○」の三文字です。「釋」は、お釈迦様の釈の一字で、お釈迦様の真実のお言葉や親鸞聖人の言葉から二文字が選ばれます。

どうぞ、この機会に尊光寺で御髮剃(おかみそり)を受け、法名をいただいでください。受式費用は一万円、申し込みは尊光寺までお待ちしております。

## 「いまさら聞けない仏教講座」のお知らせ

四国の本願寺派寺院で構成される四州教区が主催となり、仏教講座が開催されます。四国各県で開催され、徳島県では、十月二十六日午後一時より、あわぎんホールを会場に、み教えについて、仏事お作法についてと、各一時間の二時間。徳島県会場のみ教えについての講師を副住職赤松信映が務めることになりました。お釈迦さまの生涯にスポットを当て、そのエピソードから仏教の教えに触れる内容の講義です。またお作法では、正信偈の読み方やお仏壇のお飾り、お焼香の作法など、気になることを確認してみましよう。参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

【徳島県】十月二十六日(木曜日)午後一時より  
会場：あわぎんホール 講師：赤松信映、楠智成  
はじめての仏教講座「お釈迦さまの生涯とみ教え」  
仏事に関わるお作法「正信偈、合掌礼拝、焼香作法、お仏壇」  
参加費：無料

申し込み先：四州教区教務所(本願寺塩屋別院)  
電話0877-22-3016 または、尊光寺まで

徳島県のほか、香川県ではすでに開催済み、高知県は九月二十七日、愛媛県では十月二十日に開催予定です。

## 尊光寺仏教婦人会研修旅行のお知らせ

尊光寺仏教婦人会は今年で六十才になります。これを縁にして、来年創立百年を迎える宝塚歌劇と、本願寺神戸別院参拝の研修旅行を行います。仏教婦人会会員とのお仲間であればご参加いただけます。

これを機縁として、仏教婦人会活動にもご参加くださいませ。

【日時】十二月五日(火曜日)朝出発日帰り。

【行先】宝塚大劇場雪組公演十一時開演の部観劇(お弁当付き)と本願寺神戸別院参拝、夕食付き。

【費用】一万円、一万五千円程度の予定。

【定員】三十名程度まで定員になり次第締め切ります。

お申し込みは尊光寺まで

## 法要・行事のご案内

### ◎秋の彼岸会永代経法要

夕陽の沈む西方に浄土を思い、先だつた方をご縁として、この私も、ともにお念仏に出遇えたことを聞かせていただきますよう。

【9月23日(土・祝)】午後1時より法要・法話  
【9月24日(日)】午後1時より法要・法話

※24日は仏教婦人会による特別養護老人ホームお接待を予定しています。会食は11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

### 【法話講師】

本願寺派布教使 加来諭 師(福岡県 専廣寺)

加来諭師は住職娘順子の夫です。親しみやすく聞きやすい仏様のお話をしてくださいませ。どうぞどなたさまもお参りください。

### ◎宗祖親鸞聖人報恩講法要ならびに

### 御誕生八百五十年・立教開宗八百年、

### 尊光寺諸堂修復完了慶讃法要

宗祖親鸞聖人のご命日(御正忌)を縁として、私たちが阿弥陀如来のお慈悲に包まれていることを聞かせていただきます。また尊光寺の諸堂修復慶讃法要をかねてお勤めいたします。

【12月16日(土)】

午後1時より法要・法話

午後6時より法要・御伝鈔拝読・法話

【12月17日(日)】

午前10時より法要・法話

お昼ごろ御齋(食事)

午後1時より法要・御伝鈔拝読・法話

午後3時より帰敬式(おかみそり)

### 【法話講師】

本願寺派布教使 片山英道師(善通寺市 源正寺)

※本年の執行当番は市場西組(中町・北町・通町東西・市場南町・流・香美)です。よろしくお願ひします。

※おかみそり受式の方は尊光寺までお申し込みください。



顯示難行陸路苦  
憶念弥陀仏本願  
唯能常称如来号  
信楽易行水道楽  
自然即時入必定  
応報大悲弘誓恩

【訓読】難行の陸路、苦しきことを顯示して、易行の水道、楽しきことを信楽せしむ。弥陀仏の本願を憶念すれば、自然に即の時必定に入る。ただよくつねに如来の号を称して、大悲弘誓の恩を報ずべしといへり。

【現代語訳】龍樹(りゅうじゆ)菩薩は、難行道は苦しい陸路のようであると示し、易行道は楽しい船旅のようであると勧めになる。阿弥陀仏の本願を信じれば、おのずからただちに必ず仏に成るべき身である正定聚に入る。ただ常に阿弥陀仏の名号を称え、本願の大きい慈悲の恩に報いるのがよいと述べられた。

今回も、龍樹菩薩についてのお話が続きます。

今回は「顯示難行陸路苦」から味わってまいりましょう。

龍樹菩薩は、仏道修行に難行道と易行道の二つの道がある事を示します。難行道とは、勇猛な菩薩の歩む道であり、その修行は多くの行を修めなければならず(諸)、長い道のりであり(久)、墮落する危険がある(墮)という、諸・久・墮の三難を乗り越えなければならず、困難な陸を歩むような道であると示します。一方の易行道とは、どのような者でも「必ず救う我にまかせよ」という仏の願いを聞き、「南無阿弥陀仏」の名号を称えていく仏道であります。その道には難行道のような困難はなく、仏さまの大きな船に乗ってさどりの岸にわたっていくようなものであると示されます。

水に沈んでゆく石も、船に乗ると沈むことはありません。また泳ぎの得意な者も苦手な者も、船に乗っていれば、目的地への到着時間に差はありません。

先日、妻と息子と三人で神戸にお出かけをしました。チャイルドシートに乗せられた息子は、はじめはご機嫌で天井か

ら吊されたおもちゃで遊んでいます。静かだと思ったときにはスヤスヤとかわいい顔で寝ていました。このまま神戸まで穏やかに行けるかなと思つた矢先、魔のギャン泣きが始まりました。高速道路ですから止まるわけにもいかず、チャイルドシートから外してあげることもできません。妻も一生懸命あやしてみても息子は頑固にグズリ倒してくれました。神戸到着の直前になつて泣き疲れたのかふたたび寝入ってしまった。

どんなにジタバタしようとも。どんなに泣き叫ぼうが、息子は無事に徳島から神戸へと海を渡つて到着しました。



お陰さまでもうすぐ1歳

大事な息子ですから途中下車置き去りはありません。

お念仏の船も同じです。さまざまな境遇、さまざまな能力をもつた私たちを、同じお浄土へと、乗せて必ずわたすと、阿弥陀如来ははたらかれているのです。

つづく

前進座「親鸞聖人と恵信尼さま」公演

2009、2010年に「法然と親鸞」2015年には「九条武子ものがたり」の公演を全国でおこなつた前進座が、このたび、「花ごぶし 親鸞聖人と恵信尼さま」の劇を公演します。親鸞聖人の妻である恵信尼(えしんに)のお手紙をもとに、妻の目線から親鸞聖人を描いた舞台となる予定だとか。

公演は十一月から来年にかけて全国で行われる予定。  
東京浅草公会堂2024/1/29、31、京都京都劇場2024/2/26、29、大阪国立文楽劇場2024/9/12、18など。

徳島から近くは【香川公演】2023年十二月八日(金)十一時開演と十五時開演の二回。会場はユープラザうたづハーモニホール。5500円予定。香川公演の申し込みは尊光寺までお問い合わせください。その他の公演は前進座0422-49-2633まで。

副住職担当、徳島新聞カルチャー教室の「案内

各講座、受講生募集中です。

「仏教講座」正信偈(しようしんげ)

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

●毎月第3金曜日 10時半、12時 月額 3300円

「親鸞聖人と『歎異抄(たんにしよう)』

「悪人こそが救われる!?!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がつまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわってまいりましょう。

●毎月第2月曜日 13時半、15時 月額 3300円

【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校  
徳島市寺島本町西1-5 アニコ東館7階

TEL 088-611-3355

徳島新聞カルチャーセンターは、徳島本校(川内)と徳島駅前校(アニコ九階)がひとつになり、徳島駅前アニコビル七階に移動し、新しく徳島本校としてスタートしています。



令和5年 年忌表

令和5年の法事と亡くなった年

|       |             |
|-------|-------------|
| 1周忌   | 令和 4(2022)年 |
| 3回忌   | 令和 3(2021)年 |
| 7回忌   | 平成29(2017)年 |
| 13回忌  | 平成23(2011)年 |
| 17回忌  | 平成19(2007)年 |
| 25回忌  | 平成11(1999)年 |
| 33回忌  | 平成 3(1991)年 |
| 50回忌  | 昭和49(1974)年 |
| 61回忌  | 昭和38(1963)年 |
| 100回忌 | 大正13(1924)年 |
| 150回忌 | 明治 7(1874)年 |
| 200回忌 | 文政 7(1824)年 |
| 250回忌 | 安永 3(1774)年 |
| 300回忌 | 享保 9(1724)年 |

過去帳やお位牌をご覧ください。

# 秋の彼岸会永代経法要

九月二十三日（土曜・秋分の日） 二十四日（日曜）

両日とも午後一時より お勤めと法話

※ 二十四日は、仏教婦人会による特別養護老人ホームお接待を予定しております。感染症予防のために老人ホームお接待が行えない場合でも、婦人会会員での会食といたします。会食十一時半より、準備お手伝いくださる方は九時頃よりお願いいたします。

法話講師 本願寺派布教使

福岡県 専廣寺副住職

加来諭師

加来師は住職娘順子の夫です。尊光寺では久々のお取り次ぎです。やさしく丁寧にお慈悲を伝えて下さいます。彼岸とは、さどりの岸のことです。お念仏に出会い先立っていかれた方を縁として、残された私にもお念仏のお救いが届いていることを聞かせていただきます。体調にお気をつけてお参りください。本堂はほどよく換気されております。

## 2023(令和5)年 尊光寺行事予定(下半期)

9月23日(土) 午後 1時 秋の彼岸会ひがん え えていきよう永代経法要

9月24日(日) 午後 1時 秋の彼岸会永代経法要

※24日は仏教婦人会による老人ホームお接待です。

11時半より会食、準備お手伝いくださる方は9時頃よりお願いいたします。

11月20日(月) 午前 9時 おみがきないぶつ(仏具磨き)

12月 1日(金) 午前 9時 お内仏報恩講法要

12月10日(日) 午前 8時半 お餅つき

12月11日(月) 午前 9時 お荘厳しやうこん(おかざり)

報恩講法要に向けた準備日程です。お昼過ぎ終了の目標です。

皆さまのお力添えを宜しくお願い致します。

お手伝い衆・仏教婦人会会員を募集しております。

12月16日(土) 午後 1時 報恩講法要ほうおん こう・法話

午後 5時 お齋とき(食事)

午後 6時 報恩講大逮夜おおたい や・御伝鈔拝読ごてんしやう・法話

12月17日(日) 午前10時 総永代経法要・法話

午前11時半 お齋(食事)接待

午後 1時 宗祖親鸞聖人報恩講ならびに  
御誕生850年・立教開宗800年、  
尊光寺諸堂修復完了慶讃法要  
・御伝鈔拝読・法話

午後 3時 おかみそり(帰敬式)

※本年のお当番は市場西組です。宜しくお願い致します。

市場西組は、中町・北町・通町東西・市場南町・流・香美です。

12月31日 午後11時40分 除夜会(除夜の鐘)

1月 1日 午前 0時 修正会

どの行事もご参加をお待ちしております。